

主な内容

- NI-Youthがハロウィンパーティーを開きました
 - 2016年夏のアメリカ派遣高校生を募集します
 - 習志野市ALTのコルビー・スミスさんを紹介します
- 詳しい記事がNIAホームページからご覧になれます

発行 習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼6F 〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
<http://www.nia08.com/>
Email niasquare@m.jcnnet.jp



文化交流部会のミニバスハイクが行われました

茨城の秋を感じる、盛りだくさんの旅

杉本裕子 (文化交流部会)

毎年好評の文化交流部会主催ミニバスハイクが10月31日(土)に行われました。前年も参加のご夫婦やご家族・友達同士、また中国・ペルー・ブラジル・フィリピンなどの出身者11名を含む42名が朝、元気よくバスに乗り込みました。今年は茨城県に足をのぼし、めんたいパーク、産業交流フェア、海浜公園、ビール工場と盛りだくさんの旅程です。

まず最初の見学先は「めんたいパーク大洗」。明太子専門のテーマパークです。明太子は福岡の生産が中心ですが、できたてを関東のお客様に届けたいとの熱い想いから「めんたいパーク大洗」が誕生したそうです。たくさんの明太子の土産物をはじめ、明太子を使ったおにぎりやソフトクリームを食べることのできる軽食コーナーがありました。

次はひたちなか市の秋の一大イベント「ひたちなか市産業交流フェア」です。とても広い会場では、たくさんのブースが通路の両脇にズラリと並び、食べ物のブースには温かそうな湯気と美味しそうな匂いが立ち込めていました。丁度昼食時で、多くの人の行列があちらこちらにできていました。会場の一角に、ひたちなか市国際交流協会のブースがありま

した。協会の活動をアピールするため、写真の展示やチャリティーバザーを行っていました。ここでの売り上げは全額寄付されるそうです。

3番目の目的地は「国営ひたち海浜公園」です。この公園は春夏秋冬花が楽しめるところで、丘全体がコキアとコスモスで埋め尽くされていました。真っ赤に紅葉する秋のコキアはもちろんですが、色とりどりに咲き乱れるコスモスも壮観でした。

最後はビール工場見学。土曜日だったため見学コースにある設備などは稼働していませんでしたが、ビールを発酵したり、貯蔵したりする大きなタンクを見て、なんとまあたくさんのビールが飲まれているのだろうと感心してしまいました。ビールをおいしく楽しむには、つぎかたの工夫、清潔なグラス、適温(6~8度)、新鮮さ、涼しい場所での保管が大切だそうです。できたてでクリーミーな泡がたっているビールの試飲は3杯までOKでした。一行はほろよい気分バスに乗り、帰路につきました。



NI-Youthがハロウィンパーティーを開きました

松澤圭介 (NI-Youth)

10月24日の土曜日に、NI-Youth主催の少し早めのハロウィンパーティーを市内のレストラン「キャラバンサライ」別館、「コーポニョポニョ」で行いました。

当日は10名ほどの参加者が集まり、軽食のピザなどを囲んで交流を行いました。ハロウィンということで、参加者には仮装をして来てもらいました。みんな思い思いの仮装で個性豊かなキャラクターが揃いました。

パーティーではハロウィンの話から趣味の話、日常の話まで、時間が経つのも忘れてしまうほど話がはずみました。パーティー中盤のNI-Youthのイベントでは定番のジェスチャーゲームを行いました。1人がお題を出し、そのお題の答えをジェスチャーで他のみんなに当ててもらおうというゲームです。ディズニーやハロウィンにちなんだものばかりで非常に盛り上がりました。

最後にはハロウィンといえば外すことのできない仮装コンテストを行いました。1人ずつBGMに合わせてランウェイを歩き、こだわったポイントなどを

発表しました。1番人気だった優勝者にはお菓子の景品が贈られました。

初対面の参加者も多かったのですが、パーティーを通して少しずつみんなが仲良くなり、最後にはfacebookなどのSNSや連絡先を交換するシーンも見られました。

ハロウィンはまだ日本に定着し始めてから日が浅いですが、年々いろいろなイベントが開催されるようになり、盛り上がりを見せています。NI-Youthでも3年前から行っているこのハロウィンパーティーをこれからも毎年恒例イベントとして続けていき、どんどん大きなものにしていきたいと思っています。



仮装したメンバーが揃いました

2016年夏のアメリカ派遣 高校生を募集します

習志野市と姉妹都市であるアメリカのタスカルーサ市を訪れ、ホームステイしながら現地高校生との交流を通じて、アメリカの暮らし・文化・歴史に触れてみませんか。習志野市国際交流協会が派遣する青少年訪問団への参加者を募集します。

◆日程・・・平成28(2016)年7月21日(木)から8月3日(水)まで

◆場所・・・アメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市

◆派遣対象者・・・

①習志野市内在住高校生。ただし習志野市内の高校(県立津田沼高校、県立実籾高校、市立習志野高校、東邦大付属東邦高校)の在校生は別途で募集します。

②健康状態が良好で、外国での長期滞在に耐えられる人

③市の青少年代表者として、積極的な研修意欲のある人

④国際交流に関心を持ち、帰国後積極的に国際交流に参加できる人

⑤事前・事後の研修などに必ず参加できる人(事前宿泊研修あり)

◆募集人数・・・4人

◆選考方法・・・作文による1次審査通過者を対象に、面接による2次審査を実施

◆費用・・・30万円以内(パスポート取得費用、小遣い等を除く)

◆申込要項・・・応募書類を平成28年1月15日(金)午後5時までに習志野市国際交流協会へ持参。応募書類は①申込書、②自己申告書、③作文(テーマ「タスカルーサ市への派遣に対する思い」800字程度)で、①②は国際交流協会にて指定用紙を配布

◆問い合わせ・・・習志野市国際交流協会

京成津田沼駅隣サンロード津田沼6階

047(452)2650



前回(平成26年)の訪問団
NASA/ハンツビルスペース&ロケットセンターで

子どものころから 日本に引きつけられて



コルビー・スミスさん

師 妹都市タスカルーサから習志野市に派遣されているALT（外国語指導助手）は現在3名。そのリーダーを務めるのがコルビー・スミスさん。昨年8月に来日、これまで市内公立中学校の全7校を回りました。「どの学校の生徒も皆いい子たちですが、各学校それぞれの個性があります。六中は大変真面目。勉強熱心で、一回言われたことはすぐやってくれます。四中と七中はとっても元気で陽気。遠くからでも“ハア—イ！”と大きな声で挨拶してくれます。二中と五中は静かで優しい。一中はその中間くらいでしょうか。三中はリラックスしたムード。少しずつ異なるのが面白いですね。どの学校でも、教えることは本当に楽しいです」

コ ルビーさんはアラバマ大学で国際関係を専攻。副専攻は日本語。一緒に来日した夫のデリルさんとは、大学時代に日本語のクラスで出会いました。

「二人とも日本に興味があったので、私が日本に行くことが決まった時、ごく自然に彼も行く気に（笑）」。

現在、英会話サークルなどで英語を教えているデリルさん。NIAのイベントにも、二人一緒に積極的に参加・協力してくださっています。

そ もそも日本の何がコルビーさんの心を引きつけたのでしょうか？「カルチャーです。日本の人々は周囲にとっても気を配ります。周りの人々とのコミュニケーションだけでなく、取り巻く環境や自然、自分を取り巻く全ての事柄を意識し、気を配ります。たとえばゴミの出し方一つにしても、アメリカではリサイクル・システムをとっていない市も多いのですが、日本ではリサイクルの意識がもっと高いです。そういう考え方、生き方、暮らしの姿勢が、私は好きなんです」

実 はコルビーさん、お父さんの仕事の関係で、生後3カ月で来日。青森県三沢に4年間暮らしたことがあります。今でも十和田湖やねぶた祭りを覚えているそうです。「日本が外国、という意識はなかったです。子どもの私にとって、初めての世界が日本でしたから。以来、日本はずっと私を引きつけているのです」

今 後の抱負は、「生徒たちとより強い絆を作っていきたいです。それと、後から来るALTのためによい土台を作っていきたいですね」と、ニッコリ。コルビーさんの今後にますます期待！です。

（インタビュー 佐藤洋子／広報青年部会）

英語交流会が開かれました

佐藤洋子（広報青年部会）

11 月21日（土）、「英語交流会」がサンロード5階和室にて開かれました。会の目的は、ネイティブスピーカーのゲストを囲んで、英語でチャット（おしゃべり）を楽しみ、英語に親しむこと。だいたい年に2～3回、土曜日の午後2時から4時まで、たっぷり2時間行われます。

今 回は、主催の外国人支援部会の山口部会長の尽力で、アメリカやフィリピン出身のゲストが4名来会。日本人参加者は、中学生から年配のかたまで

20名。各ゲストのテーブルに思い思いに分かれて自由にチャットを楽しみました。

旅 の思い出、苦手な食べ物、脳の活性化、スポーツ、渡り鳥の習性、スマップ、最近見た映画、等々、トピックはさまざま。1時間経ったところで違うテーブルに移るので、参加者は最低2人のネイティブスピーカーとチャットができます。畳に座ってのおしゃべりということもあり、みなさん、とてもリラックスして楽しい雰囲気でした。

楽 しい！身になる！英語交流会」。次回開催については、ホームページなどをご注目ください。



ゲストごとのグループに分かれておしゃべり



今回参加のみなさん。顔ぶれはさまざま

日本語教室部会の 華道教室が開かれました

日 本語教室部会の「あすなる会華道教室」が12月7日(月)、9日(水)、サンロード5階研修室にて開かれました。月曜日の会には学習者4名とボランティア3名が参加。他に、アシストする行事担当幹事が3名。講師は木下弘子さんです。

今 回のテーマは「クリスマス」。テーブルには赤、白、緑のクリスマスらしい花材が用意され、先生のテキパキとした説明とともに、生け花の作成はテンポよく進みます。参加者のみなさんはおしゃべりもなく、静かに制作に集中。時折、手が止まって迷うような様子が見えると、先生が丁寧に指導します。限られた材料でもそれぞれに個性的な作品が出来ていきました。



約 30分が過ぎるころ、ポツポツと完成の人が出始めました。みなさん満足の表情です。「自然の花に、人の手加えられて作品が出来るのが面白い」「以前にも経験はありますが、(花を使って作品を)作るのはいつもとても楽しい。生け花は大好きです」と学習者の方々。

講 師の木下さんは「フラワーアレンジメントは世界各地にありますが、生け花のようなカタチは日本だけ。ジャパニーズ・スタイルを楽しんでもらえたらいいですね」と話していました。

(報告 秋山勝/広報青年部会)



完成作品を前に、参加者と担当幹事のみなさん
一番左が講師の木下さん

クリスマスのフライデーサロンが開かれました

12 月11日(金)、京成津田沼のレンタルパーティーレストラン、コールポニョポニョにて、フライデーサロンが催されました。6月のハワイアンナイト、10月のハロウィンなど、毎回楽しいテーマで開かれるフライデーサロン。12月の今回は、もちろんクリスマスパーティーです。

ク リスマスソングが流れる中、深紅のクロスが敷かれたテーブルにはオードブルやお寿司、ピザなどごちそうがいっぱい。参加者はなんと50名以上。姉妹都市タスカルーサ出身のALT(外国語指導助手)やその家族、日本語教室のタイ出身の学習者、ベトナムからの留学生、マレーシア出身の女性なども交え、にぎやかな顔ぶれとなりました。

パ ーティーはNIA崎山会長の挨拶でスタート。外国人支援部会の山口さんの司会で、出席者全員のひとくち自己紹介が行われ、ダンスタイムにはジルバや自己流踊り(?)で盛り上がりました。そして国際交流部会の日向さんやジェシカさんのリードで、「きよしこの夜」や「ホワイトクリスマス」などクリスマスソングをみんなで合唱しました。

食 べたり飲んだり、英語や日本語でワイワイおしゃべりしたり、一足早いクリスマスを楽しみました。

(報告 佐藤洋子/広報青年部会)



年末の慌ただしい時期にもかかわらず大盛況でした

広報 から

● メールマガジンに読者登録を

スクウェアの電子版「メール・スクウェア」を毎月1回、配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方は PCメールアドレスをniasquare@m.jcnnet.jpまで。

● 原稿をお寄せください

イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局またはniasquare@m.jcnnet.jpへ。

● スクウェア編集部員を募集しています 一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。